

# モルドバ月報

2022年5月〔モルドバの報道をもとに作成〕

令和4年6月1日 在モルドバ大使館

## 【主な出来事】

- 12日、EU加盟に向けた第二次質問書に対する回答を提出。
- 13 - 14日、ポベスク外相のG7外相会合出席。
- 13日、日・モルドバ外相会談のG7外相会談フリンジでの実施。
- 26日、ドン前大統領の30日間の自宅軟禁が決定。
- 25日、トランスニストリア地域のテロ警戒レベルの「イエロー」への引き下げ。
- 26 - 27日、田中JICA理事長の当地訪問。

## 1. 内政

### ● 第二次世界大戦戦勝記念日行事

9日、第二次世界大戦の戦勝記念日の行事が各地で行われ、約37,000人が参加し、政府がロシアのウクライナ侵攻の象徴であるとして禁止した「V」、「Z」あるいは「聖ゲオルギー・リボン」を着用したとして200人以上が実際に罰金刑を課された。

### ● 与党「行動と連帯党」の新党首選出

15日、与党「行動と連帯党（PAS）」の党大会が行われ、グロス議会議長（暫定党首）が正式に党首に選出された。

### ● ドン前大統領関連施設の搜索及び拘束

24日、ドン前大統領は、受動的汚職、犯罪組織からの政党活動金の受領、不正蓄財、反逆の疑いにより、自宅を始めとする関連施設の搜索を受け、自身も72時間拘束された。

### ● ドン前大統領の自宅軟禁

26日、受動的汚職、犯罪組織からの政党活動金の受領、不正蓄財、反逆の疑いにより、ドン前大統領の30日間の自宅軟禁が決定した。

### ● 社会党による反政権デモ

29日、社会党は、インフレ、ガソリン価格や電気料金の高騰、マスコミの検閲、ロシア軍の勝利シンボルの使用禁止、ドン前大統領の逮捕も含む司法への政治介入等を理由に、現政権に反対するデモを首都キシノウ市中心部で行った。

## トランスニストリア関連

### ● テロ警戒レベル「レッド」期間の延長

10日、トランスニストリア「当局」は、既に導入されている同地域のテロ警戒レベル「レッド」の期間を5月11日 - 25日まで延長することを決定した。

### ● テロ警戒レベルの「イエロー」への引き下げ

25日、トランスニストリア「当局」は、5月26日 - 6月3日まで同地域のテロ警戒レベルを「イエロー」に引き下げることを決定した。これに対して、同日モルドバ当局は、モルドバの居住者に対して、同地域への理由のない渡航を控えるよう勧告を発表した。

### ● 親「首相」の選出

26日、クラスノセルスキ・トランスニストリア「大統領」は、マルティノフ「首相」を解任し、27日、「議会」はローゼンベルグ氏を新「首相」に選任した。

### ● 親「内閣」の成立

30日、クラスノセルスキ「大統領」は、新内閣を承認する大統領令に署名した。

## 2. 外政

### ・ ミシェル欧州理事会議長の当地訪問

4日、サンドゥ大統領及びガブリリツァ首相は当地を訪問したミシェル欧州理事会議長と会談し、地域情勢の他、モルドバへのウクライナ戦争の経済的、社会的、人道的影響、国境管理等について議論した。サンドゥ大統領は、単一ユーロ決済圏への参加、モルドバの携帯会社が欧州のローミングネットワークに入るための支援に対する期待を表明した他、モルドバの農業支援及び食料安全保障の確保のため、肥料の提供を求めた。

### ・ グロス議会議長他のウクライナ訪問

4日、グロス議会議長及びカルブ議会国家安全保障委員会委員長はウクライナを訪問し、キーウでステファンチューク・ウクライナ最高会議議長と面会した。グロス議長はウクライナへの地雷処理部隊を派遣する用意がある旨伝達した他、国際社会による対露経済制裁に完全に同意する、と述べた。キーウ以外にもブチャ、ホストメリ、イルピンを訪問。

### ・ サンドゥ大統領とルーマニア大統領の電話会談

6日、サンドゥ大統領はヨハニス・ルーマニア大統領と電話会談を行い、近隣地域とモルドバの安全保障状況及びウクライナ戦争のモルドバへの経済的、人道的影響について議論した。サンドゥ大統領はルーマニアによる1億ユーロの無償資金援助と避難民対応のための支援に対して謝意を表明した。

### ・ リトアニア大統領の当地訪問

7日、サンドゥ大統領は、当地を訪問したナウセダ・リトアニア大統領と会談し、ウクライナ戦争に関連する地域情勢について議論し、ウクライナへの団結を表明した。サンドゥ大統領は、地域の安全保障環境を注視しており、国の優先事項は国民の平和と安全を維持することである、と述べた。

### ・ 国連事務総長の当地訪問

9 - 10日、サンドゥ大統領及びガブリリツァ首相は当地を訪問したグテーレス国連事務総長とそれぞれ会談し、ウクライナ戦争の影響、モルドバ政府の取り組み、国の発展計画等につき議論した。サンドゥ大統領は、モルドバが直面する多くの課題に効率よく対処するべく、国連との引き続きの協力を期待する旨述べた。グテーレス事務総長は、モルドバのキシノウ市所在、国内最大の避難民受け入れ施設）も視察した。

### ・ ポベスク外務・欧州統合相とデンディアス・ギリシャ外相との電話会談

10日、ポベスク外務・欧州統合相はデンディアス・ギリシャ外相と電話会談を行い、地域情勢、ウクライナ戦争の欧州の安定への影響について議論した。ポベスク外相は、モルドバとウクライナの独立と領土一体性へのギリシャからの強い支持に感謝した。

### ・ ポベスク外務・欧州統合相とデランズベルギス・リトアニア外相との電話会談

11日、ポベスク外務・欧州統合相はデランズベルギス・リトアニア外相と電話会談を行い、ウクライナ戦争によって生じている地域の安全保障環境及びそのリスクについて議論した。ポベスク外相は、欧州統合を進めるために必要な国内改革の実施、国土強靱化を進めていくことを再表明した。

### ・ ヨハンソン欧州委員の当地訪問・EU加盟に向けた第二次質問書に対する回答の提出

12日、サンドゥ大統領及びガブリリツァ首相は当地を訪問したヨハンソン欧州委員（内務担当）とそれぞれ会談し、ウクライナ戦争によって生じている地域情勢と安全保障環境、避難民の流れ等について議論した。サンドゥ大統領は、滞在先が必要な全ての避難民を引き続き援助する必要がある、と述べた。ヨハンソン欧州委員は、現況でのモルドバ国民の団結力は前例がなく、賞賛に値する、と述べた。

同日、駐モルドバEU代表部の新事務所の開所式も兼ねて、ヨハンソン欧州委員も参加の上、ガブリリツァ首相から Mazeiks 駐モルドバEU大使にEU加盟に向けた第二次質問書に対する回答の手交式が行われた。

### ・ ポベスク外務・欧州統合相のG7外相会合出席

13 - 14日、独ヴァイセンハウスで行われたG7外相会合に出席したポベスク外務・欧州統合相は、ロシアによるウクライナ侵攻とその国際法違反を強く批判した。そのフリンジで、ウクライナ、仏、日、独、伊の外相、及びポレル外務・安全保障政策上級代表との会談をそれぞれ行った。

### ・ サンドゥ大統領のブリュッセル、パリ訪問

17 - 18日、欧州議会本会議での演説のためにブリュッセルを訪問したサンドゥ大統領は、ミシェル欧州理事会議長、ドゥ・クロー・ベルギー首相、欧州議会の各グループ、ヴァールヘイ欧州委員（近隣政策及びEU拡大担当）、メツォラ欧州議会議長、ポレル外務・安全保障政策上級代表、フォン・デア・ライエン欧州議長、マカリスト欧州議会外務委員会委員長等とそれぞれ会談し、EUや各国からのこれまでのモルドバに対する支援、とりわけウクライナ避難民対応の

文脈での支援に対して謝意を述べ、E U加盟実現がモルドバの発展に大きく貢献することから引き続きの支援を要請した。

19日、パリを訪問したサンドゥ大統領は、マクロン仏大統領と会談し、リウー仏開発庁長官、議会関係者等と会談した。マクロン大統領との会談において、ウクライナ戦争の文脈での地域情勢、二国間のアジェンダ、モルドバの欧州統合関連の議題について議論した。サンドゥ大統領は、避難民支援、モルドバ支援会合開催のイニシアティブ、これまでの仏からの支援全般に感謝し、モルドバ国内に仏開発庁事務所が近々開設されることを歓迎した。

- **ポベスク外務・欧州統合相のトリノ訪問**

20日、第132回欧州評議会閣僚委員会に出席したポベスク外務・欧州統合相は、右委員会でモルドバは欧州の価値観や原則の重要性を支持していることを強調し、ウクライナ戦争開始直後から避難民を受け入れたことを紹介しつつ、支援してくれたパートナーに謝意を述べた。また、フリンジで墾、エストニア、マルタ、北マケドニア、英国、ノルウェー、セルビアの外相等とそれぞれ会談を行った。

- **ガブリリツァ首相及びポベスク外務・欧州統合相のダボス会議出席**

24-25日、ガブリリツァ首及びポベスク外相はダボス会議出席のためにスイスを訪問した。ガブリリツァ首相は、ダボス会議でモルドバのウクライナ避難民支援の取り組み及びE U加盟への希望について述べた。また、フリンジでガブリリツァ首相はジョージア、オランダ、クロアチア、ルクセンブルク、リヒテンシュタインの首相や他の政府代表、シーメンス・エネルギー代表等と会談を行い、ポベスク外相はクウェート及びルーマニアの外相、O S C E 事務総長、ウクライナ議会欧州統合委員会委員長等と会談を行った。

- **ポベスク外務・欧州統合相のチェコ訪問**

25-26日、チェコを訪問したポベスク外務・欧州統合相は、上院議長、外相、欧州担当相、その他議会関係者とそれぞれ会談した他、ラジオ・フリー・ヨーロッパ・プラハ支局も訪問した。両国の外交関係樹立30周年及びチェコの今年後半のE U議長国という文脈において、リパフスキー外相とベク欧州統合相と会談したポベスク外相は、これまでのチェコからの支援に感謝し、モルドバのE U加盟に向けた国内改革を始めた各種取り組みを引き続き押し進めていく決意を表明した上で、E U加盟のためのチェコからの支援を期待した。

- **サンドゥ大統領とジョージア大統領の電話会談**

27日、サンドゥ大統領はズラビシヴィリ・ジョージア大統領と電話会談を行い、モルドバとその近隣地域の安全保障環境、避難民へのモルドバの対応、二国間関係の発展の機会について議論した。サンドゥ大統領は、26日がジョージアの独立記念日であることから、祝意を伝達した。

- **サンドゥ大統領とアゼルバイジャン大統領の電話会談**

30日、サンドゥ大統領は、アリエフ・アゼルバイジャン大統領と電話会談を行い、最近の地域情勢及びエネルギー分野での二国間協力の方法について議論した。サンドゥ大統領からは28日のアゼルバイジャンの独立30周年に祝意を伝達した。

- **サンドゥ大統領とポルトガル大統領の電話会談**

31日、サンドゥ大統領はレベロ・デ・ソウザ・ポルトガル大統領とビデオ会議を行い、地域情勢の変化と二国間協力について議論した。サンドゥ大統領はウクライナ戦争開始以降にモルドバに提供された人道支援とポルトガル在住のモルドバ人ディアスポラへの対応に感謝した。「レ」大統領は、モルドバの国内改革を評価した。

- **N B 8 各国の議会代表の当地訪問**

31日、グロス議会議長とガブリリツァ首相は、当地を訪問したN B 8（北欧・バルト8か国）の議会代表と会談した。グロス議長との会談後の共同記者会見では、グロス議長が既存の枠組みにとらわれずモルドバが武器供与を受けられる可能性につき言及し、N B 8側よりモルドバのE U加盟と領土一体性への強い支持が表明された。

### **3. 経済**

- **2022年4月のインフレ率対前年同月比で27%上昇**

10日、国家統計局は2022年4月時点の年間物価上昇率は対前年同月比で27.07%と発表した。内訳は、食品30.17%増、非食品19.23%増、サービス34.40%増。

- **EBRD、2022年GDP成長率予測1%に下方修正**

10日、EBRDはモルドバの2022年のGDP成長率は1%予測と3月時点の予測2%より下方修正した。天然ガス価格の高騰は主要な経済リスク。政府によるエネルギー価格高騰対策の一般家庭及び事業者向けの補助金は、予算の圧迫と公的投資の減衰を招く。モルドバの脆弱な機関は、ウクライナ避難民流入と貿易の混乱への対

処に苦戦。最近のエネルギー及び穀物価格の更なる高騰は、高水準の物価上昇率が続くこととなる。国際的な支援はモルドバの喫緊の財政懸念の軽減に役立っているが、物価上昇率の高騰とウクライナにおける戦争の影響による下振れリスクは依然として大きい。

- **ウクライナ国営企業より電力購入**

11日、モルドバ国営企業エネルゴコム社は、5月の電力需要の30%をウクライナ国営企業 Ukrhydroenergo社より購入する契約を締結したと発表した。同社は、機密保持条項により価格は非公表だが、最近の入札で提示された価格より安いと述べた。

- **2022年年間平均物価上昇率27.3%の予測**

13日国立銀行は、物価上昇率の予測を発表し、2022年の年間平均物価上昇率は27.3%、2023年同は16.5%の予測と述べた。

パンデミック及びウクライナにおける戦争に影響による、国際的なエネルギー及び食料価格上昇はモルドバの物価に大きな影響を与えている。その他主な要因は、貧困層における食費への出費の割合が高いこと、モルドバの経済規模の小ささ、過去に起因する経済の不均衡の存在。物価上昇率の高騰により、均衡を保ち、潜在的な経済成長及び自国通貨安定性確保のため、制限的な金融政策が必要である。

- **2022年第一四半期貿易統計**

17日、国家統計局は2022年第一四半期の輸出総額が10億6,280万ドル、対前年同期比55%増と発表した。増加の主な要因は穀物183百万ドル（対前年同期比153百万ドル増）、種と果実油146百万ドル（同89百万ドル増）。同期間の輸入総額は20億3,760万ドル、対前年同期比31%増。貿易赤字は9億7,480万ドルで12%増。

同期間の日本への輸出は0.8百万ドル、前年同期比68%増。日本からの輸入は11.8百万ドル、同19%減。

- **2021年出生数**

19日、国家統計局は2021年、2万9,230人が生まれ（対前年比5.2%減）、51.6%が男の子、48.4%が女の子であったと発表した。

- **2022年第一四半期工業生産統計**

20日、国家統計局は、2022年第一四半期の工業生産が前年同期比3.4%増と発表した。鉱業22%増、製造業4.4%増、電気・温水・ガス・空調等が0.6%減等。

- **2022年1～4月海外送金480百万ドル**

20日、国立銀行は、今年1～4月、海外からの送金が479.5百万ドル、前年同期比6.5%減と公表した。

- **2022年第一四半期輸送統計**

24日、国家統計局は、2022年第一四半期の輸送人数は51.7百万人、対前年同期比13.3%増と発表した。同期間のモノの輸送は4.7百万トン、対前年同期比51%増。

- **2022年4月時点の国家債務、前月時点より17億レイ（89百万ドル）減少**

25日、財務省は2022年4月時点の国家債務は772億レイ（2021年GDPの31.9%相当）で、2022年初めより0.8%減少し、前月時点より17億レイ（89百万ドル）減少したと発表した。

- **2021年、公共上下水道統計**

25日、国家統計局は2021年、全地方自治体の53.6%である54市と838村は公共水道サービスへのアクセスがあり、前年より24自治体増と発表した。59.9%の自治体は公共上水道へのアクセスがある。キシノウ市のカバー率は91.4%、ガガウズ自治区同84.4%の一方、北部は同43.2%。公共下水道へのアクセスは、全自治体のうち8.7%。

- **2021年、主な死因は循環器病**

26日、国家統計局は、2021年の死者が45,327名で対前年比11.6%増、死因は循環器病が53.2%、悪性腫瘍が12.6%、消化器病が6.3%と発表した。

#### **4. 経済協力**

- **EU、対モルドバ支援5,200万ユーロ追加**

5日、EUは5, 200万ユーロを追加する対モルドバ支援を公表した。モルドバの長期的な強靱性、回復、改革、特にEU東方パートナーの枠組みにおける経済と投資計画に充てられる。

- **FAO、森林分野の対モルドバ支援に32.5万ドル援助**

5日、環境省とFAOは気候変動への適応と緩和のための森林における技術協力協定に署名した。32.5万ドルの資金援助は、今後10年で10万ヘクタールの植林に使われる。

- **IMF、対モルドバ融資増額**

11日、IMFは、IMF理事会が2021年12月に承認した対モルドバ融資5億5,830万ドル（4億SDR）を、7億9,572万ドル（5億9,426SDR）への増額することを承認したと発表した。このうち1億4,481ドル（1億815SDR）は直ちにモルドバに送金される。本融資増額は、モルドバがウクライナにおける戦争から生じる課題への対処、追加の外部資金調達の促進、最も脆弱な人々への社会保護の提供と重要な改革の更なる推進を後押しするためのものである。

- **スウェーデン、モルドバの避難民対応に4百万ユーロ支援**

18日、スウェーデン政府は、緊急基金としてモルドバの避難民対応に4百万ユーロ支援すると発表した。

- **フランス開発庁、エネルギー及び鉄道分野支援**

24日、スプヌ副首相兼インフラ地域発展相は、リウ・フランス開発庁（AFD）長官とエネルギー及び鉄道分野の技術協力協定に署名した。

- **ドイツ、人工呼吸器30台寄付**

26日、保健省は、ドイツが母子保健センターを含むモルドバの医療機関に人工呼吸器30台（60万ユーロ相当）を寄付したと発表した。

- **ルーマニア、80百万レイ（4.2百万ドル）の燃料寄付**

25日、ルーマニア政府は、対モルドバエネルギー支援のため、ディーゼル油13万リットル、ガソリン11.3万リットル、重油500万リットルの寄付を決定したと発表した。

## **5. 対日関係**

- **ポベスク外務・欧州統合相と林外相の会談**

13日、ポベスク外務・欧州統合相は、G7外相会合のフリンジで林外相と会談し、地域情勢、二国間関係の現状と今後の可能性について議論した他、露のウクライナ侵攻を強く非難した。ポベスク外相は、日本によるこれまでの対モルドバ支援及びウクライナ支援の文脈での日本政府及び国民からの支援に対して謝意を表明した。

- **田中JICA理事長のモルドバ訪問**

26～27日、田中JICA理事長はモルドバを訪問し、サンドゥ大統領、ゲルチュ農業・食品産業大臣、ネメレンコ保健大臣及びブディアンスキ財務大臣と会談した。サンドゥ大統領は、日本政府及びJICAからの保健、農業、環境保護等重要分野における寛容な支援に感謝を述べた。